

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

- (1) 基本目標
自主・自立の精神と豊かな心をもった、心身共に健康な児童を育成する。
- (2) 具体目標
- 明るく元気でがんばる子ども（元気）
 - 進んで学びよく考える子ども（やる気）
 - 心豊かで思いやりのある子ども（思いやり）
- 合言葉 「元気・やる気・思いやりのある 雀央っ子」

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

学校は、児童にとって、安心かつ安全な場所、楽しく前向きなエネルギーをもった場所でなければならない。児童は、そのままの自分を受け入れてくれているという安心感の中で自己の存在感を感じ、互いに切磋琢磨して自己を成長させ、困難に負けない強さを身に付けていくことができる。そして、未来に向かって夢をもち、道を切り開いていく力を蓄えることができる。

また、学校は、学びの面白さを実感できるところでなくてはならない。児童は、主体的・対話的な学びを通して、分かる楽しさや自己の力の向上に気づいていく。

そのために、教職員が、常に前向きな姿勢で職務に取り組み、児童一人ひとりと向き合い、互いにチームとして支え合い、絶えず研修に励んで専門性を高めて授業力を向上させるとともに、保護者や地域住民と連携し、信頼関係の下、共に子どもたちを育てていくことのできる学校づくりを目指す。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 安心と成長の場となる学校をつくる
・ 温かい人間関係の下、児童一人ひとりのよさと可能性が生かされた、行きがよい・居がよいのある学校を作る。
- (2) 主体的・対話的で深い学びを実現するための授業改善実現を推進する
・ 「学習内容が確実に定着する授業」「主体的・対話的に学び合う授業」づくりを工夫する。
- (3) 自信とたくましさ（折れない心・粘り強さ）を育成する
・ 児童一人ひとりにとって居がよいのある学校にするとともに、自己肯定感を高め自信をもって活動できる児童、困難に負けないたくましい心をもった児童の育成に努める。
- (4) 健康を管理する力・危険を回避する力を育成する
・ 生涯に渡って、心身ともに健康で安全な生活を送るための資質や能力を育成する。
- (5) 未来を生き抜く力を養う
・ 持続可能な社会を創る担い手として必要な資質や能力を育成する。
- (6) 学校のチーム力の向上を図る
・ 時間と心にゆとりをもち、全教職員が自己の持つ能力を最大限に発揮できるチームを作る。
- (7) 地域とともにある学校づくりを推進する
・ 保護者や地域と思いを共有し、児童がよりよく学びよりよく生きていく力を身に付けるための環境を整える。

〔雀宮地域学校園教育ビジョン〕

一人ひとりが自らの良さを自覚し、主体的に学ぶ児童生徒の育成
～ いきいきとした活動を通して ～

4 教育課程編成の方針

- (1) 基本方針
- ・ 知・徳・体の調和のとれた発達を目指すため、各教科・道徳科・総合的な学習の時間・特別活動の相互の学びの関連を図った編成を行う。
 - ・ 地域学校園教育ビジョンである「一人一人が自らのよさを自覚し、主体的に学ぶ児童生徒の育成」を目指す教育課程となるよう、9年間の学びの連続性を考慮した編成を行う。
 - ・ 保護者や地域住民の願いを踏まえ、本校の教育の目指すところを共有し、地域の教育力が生きる編成を行う。
- (2) 留意点
- ・ 昨年度の各種調査等の結果を踏まえ、知・徳・体の課題を明確にして指導の重点化を図る。
 - ・ 教科横断的な視点を持ち、各教科間または各教科の学習内容に関連する道徳科・総合的な学習の時間・特別活動の実施内容や時期を考慮するなど、カリキュラムマネジメントの充実に努める。
 - ・ 地域の教育資源を把握し、教育活動の中に積極的に取り入れる。
 - ・ 地域学校園児童生徒の課題から、今後育てていきたい力を明確にし、共通実践等を取り入れる。

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学 校 運 営】

- ・ 業務の内容を見直し、効率化を図ることで、児童とともに過ごす時間を大切にするとともに、教職員が持てる力を有効に発揮し、チームとして動ける学校づくりに努める。また、地域の教育資源を生かした教育活動、小中が連携した継続的な教育活動により、地域とともにある開かれた学校づくりを行う。

そのために、

- ① 温かい人間関係の下、児童一人ひとりのよさと可能性が生かされた、行きがい・居がいのある学校を作る。
- ② 若手教職員に対する OJT の推進と、互いに学び合えるチーム作り
- ③ 全教職員が必要な情報を共有し、互いの要請に応え合えるチーム作り
- ④ 教職員が、心身ともに健康な状態で職務を遂行するための業務の改善の視点の共有と勤務時間を意識した働き方の推進
- ⑤ 地域の教育力を生かし学びを深めるため、地域協議会や関係機関及び団体等と連携し幅広い人材を活用
- ⑥ 地域学校園内での情報交換を密にし、各校の課題等について解決の方向性や対策に対する見解を話し合い共有
- ⑦ 児童の育成について思いを一つにし、家庭・地域と連携しながら、信頼される学校作りを推進

【学 習 指 導】

- ・ 「学習内容が確実に定着する授業」「主体的・対話的に学び合う授業」づくりを工夫する。

そのために、

- ① ICT 機器の効果的な活用及び「宇都宮モデル」（はっきり・じっくり・すっきり）を踏まえた授業改善
- ② 児童同士が学び合える活動の工夫と教師のコーディネート力の向上
- ③ SDGs 等現代的な課題に対応するための、問題解決的な学習と教科横断的なカリキュラムマネジメントの充実
- ④ 一人一台端末を利用した授業やまとめの学習・家庭学習等、日常的な活用
- ⑤ S-P 表等の活用による学力調査結果のきめ細かな分析と改善に向けた実効性のある共通実践
- ⑥ 児童が自身の変容や成長を自己評価するための「宮・未来キャリアパスポート」の活用の工夫
- ⑦ 論理的思考力を培うプログラミング教育の積極的な実施
- ⑧ より良い情報の使い手をして育てるための情報モラル教育の実施
- ⑨ 自分たちの市や町に対する理解を深め、誇りがもてるようにするための、生活科や総合的な学習の時間の充実（「宇都宮学」「雀宮についての学習」）

【児 童 生 徒 指 導】

- ・ 児童一人ひとりにとって居がいのある学校にするとともに、自己肯定感を高め自信をもって活動できる児童、困難に負けないたくましい心をもった児童の育成に努める。

そのために、

- ① 教育活動全体を通した「宮っ子心の教育」の推進と道徳の授業の充実
- ② 自信や自己有用感の向上を図るための、認め・褒め・励ます指導
- ③ 豊かな感性を育む体験活動・読書活動の充実
- ④ いじめの解決に向けて自主的な行動を促す機会や場の設定
- ⑤ 不登校を生まないチーム支援の充実
- ⑥ 一人ひとりの教育的ニーズに対応するための多様な学びの場の提供

【健康（保健安全・食育）・体力】

- ・ 生涯に渡って、心身ともに健康で安全な生活を送るための資質や能力を育成する。

そのために、

- ① 運動に親しみ、運動量を確保する活動の工夫
- ② 健康を脅かすさまざまな要因の理解と健康を管理する能力の育成
- ③ 食事の重要性や栄養バランス等、より良い食生活についての指導
- ④ 危険を予測し、自分の命を自分で守り抜く行動力の育成

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。
 ※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評 価								
目指す児童の姿	A 1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、授業中、話をしっかりと聞いたり、発表したりするなど、進んで学習に取り組んでいる。」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	1 基本的な学習態度や学習技能の習得を図るための手立てを、全校級で行う。 (1) 発達段階に応じた「発表する力」「聞く力・話し合う力」のポイントの掲示 (2) 小集団学習の効果的な活用 (3) 話合いの観点の提示、発表の場の工夫	B	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児 童</th></tr><tr><td>100</td><td>93.8</td><td></td><td>93.7</td></tr></table> 数値指標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。 【次年度の方針】 引き続き、具体的な取組を着実に実践していくとともに、主体的に学習活動が取り組める手立てをしていく。	教職員	保護者	地域住民	児 童	100	93.8		93.7
	教職員	保護者	地域住民	児 童								
	100	93.8		93.7								
	A 2 児童は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、誰に対しても、思いやりの心をもってやさしく接している。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	1 道徳の時間の指導を要として、思いやりのある豊かな心情を育成する。 2 縦割り班による児童会活動や清掃活動をはじめ、異学年集団による活動を取り入れ、上級生が下級生の面倒をみることを通して、思いやりの心が醸成されるようにする。	B	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児 童</th></tr><tr><td>100</td><td>91.9</td><td>100</td><td>94.5</td></tr></table> 保護者の数値が昨年より 1.7 ポイント下回る結果となったが、児童の数値は昨年度より 0.9 ポイント上回った。 【次年度の方針】 「共感力」を高めるために、縦割り班活動や読書活動の推進・絵本や児童文学などの物語に登場する人物の気持ちを想像させる等の取組を実践していく。	教職員	保護者	地域住民	児 童	100	91.9	100	94.5
教職員	保護者	地域住民	児 童									
100	91.9	100	94.5									
A 3 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、きまりやマナーを守って生活をしている」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	1 基本的な生活習慣育成の徹底を図るとともに、規範意識を高める指導の充実を図る。 (1) 「雀央スタンダード」に基づいた全校体制による指導の徹底 (2) 生活目標の設定による、目標を焦点化した指導の展開 (3) 職員会議後に行う児童指導に関する情報交換の活用	B	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児 童</th></tr><tr><td>97.2</td><td>95.0</td><td>100</td><td>92.0</td></tr></table> 教職員で 2.8 ポイント下がったが、保護者は昨年度と変わらなかった。児童は 0.1 ポイント上がった。 【次年度の方針】 「雀央スタンダード」「雀央小のきまり」「生活目標」の確認・実施を継続して行う。保護者に「雀央小のきまり」を配付し保護者への周知徹底を図る。道徳の授業（内容項目「規則の尊重」）の充実を図る。	教職員	保護者	地域住民	児 童	97.2	95.0	100	92.0	
教職員	保護者	地域住民	児 童									
97.2	95.0	100	92.0									
A 4 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、時と場に応じたあいさつをしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	1 ○児童会活動を中心に地域と連携し、あいさつ運動の積極的な推進を図るとともに、取組を発信していく。 (1) 年 2 回の地域学校園あいさつ週間の取組の充実 (2) 児童会、あいさつ隊によるあいさつ運動の展開 (3) 教師の率先垂範による日常的なあいさつ指導の推進	B	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児 童</th></tr><tr><td>97.2</td><td>83.9</td><td>100</td><td>97.3</td></tr></table> 保護者・児童共に昨年度の数値を上回った。 【次年度の方針】 学級の指導で、家庭や地域へのあいさつの仕方など具体的な方法を指導し、学級懇談会や個人懇談で「あいさつ」の話題を出し啓発をする。また、「児童指導だより」や「学校だより」で保護者に周知していく。	教職員	保護者	地域住民	児 童	97.2	83.9	100	97.3	
教職員	保護者	地域住民	児 童									
97.2	83.9	100	97.3									

A 5 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「私は夢や希望に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	1 児童の自己肯定感や自己有用感を高めるために、ピカイチカードを積極的に活用する。 2 ○「100 ます計算」や「漢字チャレンジデー」、各種検定等に児童が各自の目標をもって取り組めるよう支援する。 3 学校で児童が粘り強く取り組んでいることを学校便りや学年便りを通して保護者に知らせる。	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児 童</th></tr><tr><td>94.4</td><td>83.0</td><td></td><td>90.2</td></tr></table> 児童は数値指標を大きく上回り、保護者の数値指標も上回っている。目標に向かってあきらめずに粘り強く取り組むことを教職員が重視しているのとらえることができる。 【次年度の方針】 ピカイチカードの積極的な活用により自己肯定感や自己有用感を高めたり、宮・未来キャリア・パスポートを活用し、様々な場面で一人一人が目標を明確にもてるような支援を積極的に実践していく。また、児童の頑張りを認め、励ますような場を設けていく。	教職員	保護者	地域住民	児 童	94.4	83.0		90.2
教職員	保護者	地域住民	児 童							
94.4	83.0		90.2							
A 6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、健康や安全に気を付けて生活している。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	1 交通安全教室や避難訓練を計画的に実施することにより、危険予測や危機を回避する意識の高揚を図る。 2 保健だよりや児童指導だより、食育だよりといった各種便りの配付により、健康や安全に関する意識を高める。 3 保健指導教材を活用し、各クラスにおいて発達段階に応じた指導を行い、感染症予防に対する意識を高める。	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児 童</th></tr><tr><td>91.7</td><td>91.5</td><td>100</td><td>95.9</td></tr></table> ・普段からの声掛けや、各種便りの発行や保健指導教材により感染症予防対策の必要性を発信し、指導・支援を継続してきたことで、児童が主体的に感染症予防に取り組めるようになった。 【次年度の方針】 ・今後も避難訓練の実践的な取り組みや、感染症予防対策の徹底を行っていく。 ・危険予測や機器を回避する意識を高めるために、避難訓練を実践的に実施していく。	教職員	保護者	地域住民	児 童	91.7	91.5	100	95.9
教職員	保護者	地域住民	児 童							
91.7	91.5	100	95.9							
A 7 児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。 【数値指標】 全体アンケート 「私は夢や希望に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	1 「雀央サミット」への参加や、サミットで決定した各地区での取組への積極的な参加を促すことを通して、社会貢献への意識を高める。 2 宮・未来キャリア教育年間指導計画に基づき、夢や目標の実現意欲を高めたり、勤労観・職業観の育成を図ったりする。 3 学習や、学校行事等の様々な活動に、粘り強く取り組ませる。	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児 童</th></tr><tr><td>94.4</td><td>83.0</td><td></td><td>90.2</td></tr></table> 保護者は昨年度より 1.5 ポイント上回った。児童も昨年度より 1.7 ポイント上回った。 【次年度の方針】 宮・未来キャリア教育の指導計画に基づき、夢や目標の実現意欲を高める指導を意図的・継続的にを行い、キャリアパスポートを有効に活用する。「雀央サミット」において社会貢献意識の高揚を図る。また、学校 HP にサミットの活動内容を掲載し、保護者への周知・啓発を図っていく。	教職員	保護者	地域住民	児 童	94.4	83.0		90.2
教職員	保護者	地域住民	児 童							
94.4	83.0		90.2							
A 8 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、外国語活動（英語）の授業や ALT との交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	1 教員と ALT の打合せを綿密に行い、ALT を効果的に活用した授業が展開できるようにする。 2 ALT と日常的に触れ合える機会を増やす。 ・各教室での給食 ・清掃活動への参加 ・クラブ活動への参加 ・休み時間等での触れ合い	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児 童</th></tr><tr><td>97.2</td><td></td><td></td><td>90.4</td></tr></table> 数値指標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。 【次年度の方針】 引き続き、具体的な取組を着実に実践していくとともに、授業以外でも ALT や英語に触れることができる場の設定をしていく。	教職員	保護者	地域住民	児 童	97.2			90.4
教職員	保護者	地域住民	児 童							
97.2			90.4							

A 9 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 全体アンケート 「私は、宇都宮の良さを知っている。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	1 生活科や社会科、総合的な学習の時間において、雀宮地域や宇都宮の良さを学べる授業を展開する。 2 ○「雀宮の日」に合わせて、地域学校園で統一した取組を実施する。 3 宇都宮の良さを理解できるように宇都宮学の年間指導計画に基づき、指導の充実を図る。	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児 童</th></tr><tr><td>88.9</td><td>74.0</td><td></td><td>85.9</td></tr></table> A 児童の肯定的回答は数値指標を上回っている。授業や校外学習などで体験的な学習を行うことを通して、宇都宮の良さが学べたととらえることができる。 【次年度の方針】 今後も学習内容の充実を図り、体験的な学習機会を設けていく。	教職員	保護者	地域住民	児 童	88.9	74.0		85.9
教職員	保護者	地域住民	児 童							
88.9	74.0		85.9							
A 10 児童は、I C T機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は I C T 機器や図書等を学習に活用している。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	1 各教科の授業において、パソコンや実物投影機、プロジェクターなどを効果的に活用した授業を展開する。 2 学校図書館司書や南図書館と連携を図り、学習に図書を活用できる環境を整える。 3 プログラミング教育など、I C T 機器を使用する学習を計画的に実施する。	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児 童</th></tr><tr><td>94.4</td><td>87.4</td><td></td><td>88.8</td></tr></table> B 児童の肯定的回答は数値指標を上回っており、おおむね満足できる結果となった。保護者の肯定的回答も大きく上回った。一人一台端末を効果的に活用していたととらえることができる。 【次年度の方針】 引き続き、I C T 機器や図書等を効果的に活用し、学校での取組状況を学校便り、学年便り等で保護者に周知していく。	教職員	保護者	地域住民	児 童	94.4	87.4		88.8
教職員	保護者	地域住民	児 童							
94.4	87.4		88.8							
A 11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、誰に対しても、思いやりの心をもってやさしく接している。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	1 地域高齢者をボランティアチャーターとした「昔遊び」や「火起こし体験」などの授業を設定し、交流を行う。 2 道徳の時間の指導を通して、生命や人権を尊重する心の涵養を図る。	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児 童</th></tr><tr><td>100</td><td>91.9</td><td>100</td><td>94.5</td></tr></table> B 保護者の肯定的回答が昨年より 1.7 ポイント下回る結果となったが、91.9%と高い数値であった。 【次年度の方針】 学校図書館司書との連携による読書活動の推進（放送による読み聞かせ）や「思いやりしぐさ」の定着等の取組を実践していく。また道徳の時間（B 内容、主として人との関わりに関すること・親切、思いやり）の指導に取り組んでいく。	教職員	保護者	地域住民	児 童	100	91.9	100	94.5
教職員	保護者	地域住民	児 童							
100	91.9	100	94.5							
A 12 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、環境問題や防災等の「持続可能な社会」について関心をもっている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	1 社会科や家庭科、総合的な学習の時間、委員会活動の指導を通し、環境問題への意識を高める。 2 火災や竜巻などの避難訓練の事前指導を通して、防災意識を高める。 3 小学校段階での「持続可能な社会」を目指すための課題について確認し、児童の発達段階に応じた指導を展開する。	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児 童</th></tr><tr><td>83.3</td><td></td><td></td><td>87.3</td></tr></table> A 教職員の肯定的回答は数値指標を大きく上回った。環境だより等を通じて「持続可能な社会」について身近な生活と関連させて、考えることができたのととらえることができる。 【次年度の方針】 小学校段階における「持続可能な社会」についての指導を確認し、今後も児童の発達段階に応じて身近なことから取り組んでいけるようにしていく。	教職員	保護者	地域住民	児 童	83.3			87.3
教職員	保護者	地域住民	児 童							
83.3			87.3							

目 指 す 学 校 の 姿	B 1 児童は家庭学習の習慣が身に付いている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、宿題や自主学習などを行う学習習慣が身に付いている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	1 雀央スタンダードや家庭学習の手引きを活用し、児童の発達段階を踏まえた家庭学習の推進を図る。	B	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児 童</th></tr><tr><td>94.4</td><td>84.2</td><td></td><td>90.6</td></tr></table> 教職員、保護者ともに数値指標を上回り、十分満足できる結果となった。 【次年度の方針】 引き続き、具体的な取組を着実に実践していく。	教職員	保護者	地域住民	児 童	94.4	84.2		90.6	
	教職員	保護者		地域住民	児 童								
	94.4	84.2			90.6								
	A 13 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 全体アンケート 「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	1 校内支援委員会などの機会を通して教職員間の情報共有を図り、教職員が同一の歩調で支援できるようにする。 2 外部の関係機関との連携を密接に行っていく。		B	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児 童</th></tr><tr><td>97.2</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 数値指標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。 【次年度の方針】 引き続き、具体的な取組を着実に実践していく。	教職員	保護者	地域住民	児 童	97.2			
	教職員	保護者			地域住民	児 童							
97.2													
A 14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 全体アンケート 「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	1 全校体制による組織的ないじめ防止策の推進を図る。 (1) いじめゼロ強調月間での取組 (2) 学校だより・学年だより・児童指導だより等を活用した、いじめ撲滅推進のための各種取組の積極的な発信 (3) 学校生活アンケートによる「いじめ」の早期発見・早期対応を図る。	B	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児 童</th></tr><tr><td>94.4</td><td>87.8</td><td>100</td><td>98.4</td></tr></table> 保護者の肯定的回答は、昨年度より0.4ポイント上回った。 【次年度の方針】 いじめゼロ防止の取組を理解してもらうよう「いじめゼロ集会」の録画をオープンスクールや授業参観、学級懇談の際に放映する。また学校ホームページを通して保護者・地域に取組を発信していく。		教職員	保護者	地域住民	児 童	94.4	87.8	100	98.4	
教職員	保護者		地域住民		児 童								
94.4	87.8		100	98.4									
A 15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 全体アンケート 「教職員は、一人一人の児童を大切に、児童とともに認め励まし合う学級づくりを行っている。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	1 ○児童のよさを認め、称賛したり励ましたりする指導を心がけることで、児童の自己肯定感を高める。 2 児童全員との教育相談期間「おしゃべりタイム」を実施する。 3 校内支援委員会を随時開催する。		B	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児 童</th></tr><tr><td>97.2</td><td>90.5</td><td></td><td>97.3</td></tr></table> 保護者の肯定的回答は昨年度より3.4ポイント下回ったが、90.5%と高い結果となった。 【次年度の方針】 居心地のよい学級づくり（自己表現ワークや構成的グループエンカウンター）を実践していく。また、ピカイチカードを継続的に活用し、自己肯定感・自己有用感を高めていく。	教職員	保護者	地域住民	児 童	97.2	90.5		97.3	
教職員	保護者			地域住民	児 童								
97.2	90.5			97.3									
A 16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 全体アンケート 「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	1 外国人児童に関する情報共有をし、必要に応じた支援や関係機関との連携を行う。	B		【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児 童</th></tr><tr><td>97.2</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 数値指標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。 【次年度の方針】 引き続き、具体的な取組を着実に実践していく。	教職員	保護者	地域住民	児 童	97.2				
教職員	保護者			地域住民	児 童								
97.2													

A 17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 全体アンケート 「学校全体に活気があり、明るく生き生きとした雰囲気である。」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上 ⇒地域住民の肯定的回答 80%以上	1 学年・学級経営計画に基づいた、意図的・計画的な指導を通して、明るく、活力のある学級づくりを目指す。 (1) 雀央スタンダードの活用 (2) Q-U 検査の効果的な活用 2 児童会活動や学校行事の工夫・改善を通して、児童の主體的な活動の場を確保し、楽しく、活気あふれる学校づくりを目指す。 (1) 縦割り班活動の工夫・改善 (2) 行事運営への児童の参加促進 (3) 各種たよりやホームページ等による情報発信	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児童</th></tr><tr><td>100</td><td>92.3</td><td>100</td><td>94.3</td></tr></table> 保護者、地域住民、児童いずれも数値目標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。 【次年度の方針】 引き続き、具体的な取組を着実に実践していくとともに、一人一人が活躍できる場を設定し、「いがいのある学校」づくりを目指す。	教職員	保護者	地域住民	児童	100	92.3	100	94.3
教職員	保護者	地域住民	児童							
100	92.3	100	94.3							
A 18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 全体アンケート 「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上 「教職員は、児童一人一人が理解できるように教材を工夫するなど、きめ細かな指導をしている」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	1 確かな学力を身に付けさせるための分かる授業作りを推進する。 (1) ねらいとねらいを実現するための手立てが明確な授業、適切な評価と評価が生かされた授業 (2) 研究授業や一人一授業の計画的な実践による指導方法の改善 2 児童一人一人の学習状況を的確に把握し、個に応じたきめ細かな指導を充実させる。 (1) 習熟度別学習や少人数指導、TT など指導体制の工夫 (2) かがやきルームを活用した個別指導の充実 (3) 個に応じた教材の開発・活用	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児童</th></tr><tr><td>97.2</td><td>85.1</td><td></td><td>98.0</td></tr></table> 児童、保護者ともに数値目標を上回り、十分満足できる結果となった。 【次年度の方針】 引き続き、具体的な取組を着実に実践していく。	教職員	保護者	地域住民	児童	97.2	85.1		98.0
教職員	保護者	地域住民	児童							
97.2	85.1		98.0							
A 19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	1 情報の共有・状況の共有を積極的に図り「チーム雀央小」の一員であることをより自覚できるようにする。 (1) 打合せ用紙の配付による毎朝の連絡 (2) ミニ支援委員会・ミニ対策会議の実施	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児童</th></tr><tr><td>97.1</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 数値目標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。 【次年度の方針】 引き続き、情報の共有・状況の共有を積極的に図り、具体的な取組を着実に実践していく。	教職員	保護者	地域住民	児童	97.1			
教職員	保護者	地域住民	児童							
97.1										
A 20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	1 各自が出退勤記録を打刻することや、退勤目標時刻を職員室に表示したり、毎月リフレッシュデーを設定したりすることで、効率的な業務遂行及び勤務時間管理の意識化を図る。 2 教職員の負担軽減に向け、前例にとられず、スクラップ＆フォーカスを進める。	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児童</th></tr><tr><td>75.0</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 数値目標を下回り、かつ昨年度より約 11 ポイント下がっている。昨年中止されていた行事の一部が再開された上、新型コロナウイルス感染症対策を考慮せねばならず、業務内容が増えたことが原因と考えられる。 【次年度の方針】 リフレッシュデーを金曜日に設定して計画的・効率的に業務を進める意識をより一層高め、行事の精選や統合を図るなど、引き続き、具体的な取組を着実に実践していく。	教職員	保護者	地域住民	児童	75.0			
教職員	保護者	地域住民	児童							
75.0										

A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は小学生や中学生が交流する活動を行っている。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上 「学校は小学校と中学校が連携した小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	1 ○地域学校園による「小中一貫教育実施計画」に基づき、中学校との円滑な交流を推進していく。 (1) 全体会・各部会・分科会実施 (2) 地域学校園「あいさつ運動」年2回 (3) 「宮っ子チャレンジウィーク」受け入れ（中学生職業体験） (4) 地域学校園内小中合同による南図書館清掃 (5) 小中一貫の「体育検定」活用 2 取組について児童、保護者、地域へ積極的に情報発信を行う。	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児 童</th></tr><tr><td>94.4</td><td>77.9</td><td>100</td><td>77.6</td></tr></table> 保護者、児童ともに数値指標を下回ったが、児童は昨年度より約15ポイント上回った。昨年に引き続き多くの取組が中止になったものの、あいさつ運動や宮っ子チャレンジなど、児童に関わる行事の一部が実施されたためと考えられる。 【次年度の方針】 雀宮地域学校園としての実施計画に基づき、引き続き、具体的な取組を着実に実践していく。また、小中一貫の活動であることを児童、保護者に意識づけするとともに、活動の様子を各種たよりや学校ホームページ等で発信していく。	教職員	保護者	地域住民	児 童	94.4	77.9	100	77.6
教職員	保護者	地域住民	児 童							
94.4	77.9	100	77.6							
A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	1 地域協議会を通して授業ボランティアを募集したり、予め学校ボランティアを登録しておいたりする。 2 企業や専門家による各種出前授業等を計画的に活用する。	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児 童</th></tr><tr><td>100</td><td>89.6</td><td>100</td><td>93.1</td></tr></table> 数値指標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。 【次年度の方針】 引き続き、具体的な取組を着実に実践していく。	教職員	保護者	地域住民	児 童	100	89.6	100	93.1
教職員	保護者	地域住民	児 童							
100	89.6	100	93.1							
A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「私は、地域や企業の方々と一緒に活動することで学習が充実し、楽しい。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	1 「雀央サミット」を校内で実施し、児童から自治会・育成会に意見提案を行い、地域や家庭との連携を図る。 2 地区市民センターや地域主催の行事への参加を奨励する。	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児 童</th></tr><tr><td>100</td><td>89.6</td><td>100</td><td>93.1</td></tr></table> 数値指標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。「雀央サミット」等の行事や学習ボランティアの活用、企業との連携による学習活動が一部再開された成果と考えられる。 【次年度の方針】 引き続き、具体的な取組を着実に実践していくとともに、「雀央サミット」等地域密着型の行事や外部と連携した学習活動の意義や効果を内外にアピールし、より効果のある教育活動を実践していく。	教職員	保護者	地域住民	児 童	100	89.6	100	93.1
教職員	保護者	地域住民	児 童							
100	89.6	100	93.1							
A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	1 月例の安全点検により、危険箇所の早期把握・早期対応に努める。 2 保護者や利用者へ感染症予防対策依頼（体温チェックや消毒依頼）や利用時の注意喚起、危険箇所の表示、AED設置場所、災害時避難方法等の危機対応に関する情報を提供する。	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児 童</th></tr><tr><td>97.2</td><td>93.8</td><td>100</td><td></td></tr></table> ・各箇所の消毒液の設置や手洗い場の管理等、衛生面の管理を徹底できた。 ・安全点検を適切に実施し、危険箇所の修繕修復を早期に実施することができた。 ・危険箇所について、放送や通知による情報発信を行い、周知徹底をすることができた。 【次年度の方針】 今年度の取り組みを継続していくとともに、危機対応や衛生面に関する情報発信を強化していく。	教職員	保護者	地域住民	児 童	97.2	93.8	100	
教職員	保護者	地域住民	児 童							
97.2	93.8	100								

A25 学校は、学習に必要な I C T 機器や図書等を整えている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、I C T 機器や図書等を学習に活用している。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	1 児童が I C T 機器を活用する授業を意図的・計画的に実践する。 2 図書室経営方針に則り、どのクラスも計画的に図書室を活用する。 3 チャレンジブック等を活用した図書の貸出推進に努める。 4 図書選定委員会を開催し、計画的な図書の購入に努める。	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児 童</th></tr><tr><td>94.4</td><td>87.4</td><td></td><td>88.8</td></tr></table> 数値指標を上回っており、満足できる結果となった。特に保護者の肯定的回答率は昨年より約 10 ポイントアップした。全校体制で GIGA スクール構想実現に取り組み、一人一台端末を活用した学習を展開した成果と考えられる。 【次年度の方針】 一人一台端末の効果的な活用について研究を進め、学習活動だけでなく、保護者との通信手段として活用するなど、端末の活用をより一層推進していく。さらに、学習への図書の計画的活用を進めるなど、具体的な取組を着実に実践していく。	教職員	保護者	地域住民	児 童	94.4	87.4		88.8
教職員	保護者	地域住民	児 童							
94.4	87.4		88.8							
B2 教職員は、資質・能力の向上のため、進んで研鑽している 【数値指標】 学校独自アンケート 「教職員は、資質・能力の向上のため、進んで研鑽している。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	1 校内研修の活性化を図る。 (1) 一人一授業の実践 (2) 小グループでの協議を取り入れた授業研究会 2 外部研修への参加を奨励する。	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域住民</th><th>児 童</th></tr><tr><td>100</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 数値指標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。 【次年度の方針】 引き続き、具体的な取組を着実に実践していく。	教職員	保護者	地域住民	児 童	100			
教職員	保護者	地域住民	児 童							
100										

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

27 の評価項目中 25 項目で肯定的回答の数値指標を上回ったことから、本市が目指す「児童の姿」「学校の姿」についておおむね適切な取組が行えたと考える。中でも次の 13 項目^{※1}は、全評価対象者とも 90% 超の肯定的回答となり、十分満足できる結果となった。(A は本市共通の評価項目、B は本校独自の評価項目) ^{※1} R02 13 項目

- ・ A1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。
- ・ A2 児童は、思いやりの心をもっている。
- ・ A3 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。
- ・ A6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。
- ・ A8 児童は、外国語活動の授業や ALT との交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている。
- ・ A11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。
- ・ A13 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。
- ・ A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。
- ・ A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。
- ・ A17 学校は、活気があり、明るくいそいそとした雰囲気である。
- ・ A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。
- ・ A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。
- ・ B2 教職員は、資質・能力の向上のため、進んで研鑽している。

【課題】

以下の 2 項目^{※2}が、数値指標を下回った。 ^{※2} R02 2 項目

- ・ A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。(教職員回答) 75.0%(11.1 ↓)
 - ・ A21 学校は「小中一貫・地域学校園」の取組を行っている。(保護者回答) 77.9%(3.7 ↓) (児童回答) 77.6%(15.2 ↑)
- A20 では、引き続きの感染症対策に加え、昨年中止された行事の一部が再開されたこと、一人一台端末の授業での活用に向けて教材研究の時間が増えたことで業務内容が増えたことが要因として考えられる。A21 については、多くの取組が中止になる中、あいさつ運動や宮つ子チャレンジ等、児童に関わる行事の一部が実施されたことで、児童は中学校との交流を実感できたものの、小中一貫の活動についての家庭への周知がまだ十分とは言えないと推測される。

7 学校関係者評価

- ・ 子供たちは制限された生活が長引く中でも明るく前向きな姿勢が感じられる。マスクを通じた挨拶でも元気が伝わってくる。次年度も今年度同様、出来ることから実践していければよいと思う。
- ・ 朝の挨拶がよくできている。良いことはどんどんと褒めることで、児童の心にゆとりができ、何事に対しても自信がつくと思う。
- ・ 児童の評価は12項目が向上(5項目が低下)しており、児童は教職員に対する信頼感が向上している。児童が学校に対する信頼感が向上し、教職員の努力の成果が出ていると思料する。
- ・ 保護者は学校での生活が見えないため、(肯定的)回答割合が低いのは仕方がないと思う。今後学校は、教職員・保護者・児童の回答の差を埋められるような活動が必要であると感じた。
- ・ A5、A7(目標、夢や希望) コロナ禍の今、「夢や目標に向かって」という設問で、児童たちのポイントが増加したのは喜ばしいことである。自分たちの今を肯定的に捉えているという事実がうれしい。
- ・ A9(宇都宮の良さ) 児童や保護者の肯定的回答のポイントが前年度を上回っており、喜ばしいことである。今後も雀宮地域や宇都宮の良さを学べる授業の充実に期待する。
- ・ A10(ICT/図書) クロムブックの活用などを見ていると、児童や保護者の回答結果がもっと高くてよいのではと感じる。活用方法にはまだまだ広がりがあると思うので、好事例の収集などにより、工夫を続けてほしい。
- ・ A18(わかる授業) 児童の肯定的回答が98%というのは、児童が多くの先生方の授業を分かりやすいものと思っている結果と思う。先生方の授業への努力と熱意の賜物であろう。これからも頑張ってもらいたい。
- ・ A20(働き方改革) 肯定的回答が低いことは非常に残念。解決することが非常に難しいことは理解している。1学校のみでの努力では難しいことも。社会全体で教職員の負担軽減を考える必要がある。今後も少しでも業務の効率化に努めてもらいたい。
- ・ A21(小中連携) コロナ禍で中止になってしまっている取組は多いとはいえ、こんなに多くの取組をしていることを知らなかった。【次年度の方針】にもある通り、活動目的の意識付けをすることで評価は上がっていくのではないかな。

8 まとめと次年度へ向けて(学校関係者評価を受けて)

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

昨年度に引き続き、多くの制限があり、大変困難な状況であったが、多くの項目で数値指標を達成することができた。関わりの難しい中でも、保護者や地域の支援・助言を受け、感染症対策に万全を期して、児童・教職員が「この状況下最大限できること」に真摯に取り組んできたことに一定の理解を得られたものと考えている。

しかしながら、一人一台端末の活用や、小中一貫教育の取組等、学校体制で重点的に取り組み、一定成果が図れていると実感していることであっても、学校参観や行事への参画機会が激減している保護者には見えづらいことを痛感させられた。次年度は、学校の重点目標をもとに児童個人が個人目標を立て、教師と児童でゴールを共有できるようにすることや、保護者・地域に活動目的の意識付けができるよう周知を工夫することで、学校の取組への理解促進を図り、保護者・地域のより一層の協力を得て、充実した学校経営ができるよう努めていきたい。